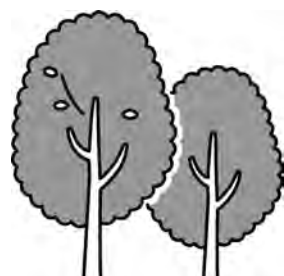


4 公共施設の有効活用

施設の統廃合・長寿命化と 機能・価値向上による有効活用

- ・公共施設等総合管理計画および個別施設計画に基づくファシリティマネジメントの推進
- ・旧秩父東高等学校活用策の具体化
- ・施設機能の集約化の推進、機能廃止建物の解体
- ・体育施設・グラウンドの整備（影森グラウンド内多目的グラウンドの照明設備の新設・改修工事の実施）

6 企業誘致と経済の活性化



地域経済の再生・「全国植樹祭」の準備

- ・「秩父理研バトンゾーン事業」実施による地元中小企業とのマッチングの機会の創出
- ・強固な地盤と災害に強い優位性をアピールし、研究機関や製造業、先端技術や観光産業の企業誘致
- ・観光振興（観光客の減る冬季の情報発信強化、イルミネーションを活用した「秩父夜街」イベントの開催）
- ・海外からの観光誘客（SNSによる情報発信、インバウンドの受け入れ態勢の充実）
- ・街並み形成の推進（中心市街地内の空き物件を活用したリノベーションへの補助）
- ・5か年計画の最終年を迎えるソサエティ5.0推進事業における官民連携事業の仕上げ
- ・秩父地域が起点となるドローン航路の実現に向けた取り組み
- ・秩父地域1市4町による「魅力ある雇用の創出やそれを担う人材の育成」
- ・第75回全国植樹祭埼玉2025開催に向けた着実な機運醸成と環境整備（「秩父市版1年前イベント」の開催やカウントダウンイベントへの参加）
- ・林業就業者事業の実施（森林環境譲与税の活用）
- ・森林整備の推進と林業の活性化
- ・自立した農業経営を行うための支援
- ・有機栽培実証実験の継続
- ・有害鳥獣対策
- ・カーボンゼロ社会の推進

5 地域医療・福祉の充実



秩父市立病院の経営改善と施設の整備 ・地域医療体制の確保・地域福祉の充実

- ・輪番制二次救急体制を堅持
- ・市立病院建設準備室を中心に検討組織の立ち上げ、建て替えについての検討
- ・産科医療・看護師の確保
- ・障がい福祉サービスの充実
- ・障がい児レスパイトケアの充実

7 安心・安全に暮らせる

笑顔のあふれるまち



ウィズコロナ・アフターコロナ社会への 対応・将来を見据えたまちづくりの推進

- ・新型コロナウイルスなどの既存感染症に備えた医療体制の構築
- ・危機管理体制の強化（家庭用防犯カメラ設置費用に対する補助制度の充実、市役所構内へのマンホールトイレ設置）
- ・空き家の実態調査の実施
- ・道路インフラの整備、通学路をはじめとする交通安全の推進
- ・国道140号秩父陸橋平面化事業、国道140号長尾根バイパスの早期完成に向けた県との連携・協力
- ・電線地中化等街並み景観整備の推進
- ・国道140号・299号に続く「命と暮らしを守る」第3のルートの一部を構成する定峰峠トンネル早期事業化への要望活動
- ・「健康長寿 秩父」の実現に向けた健康増進事業の実施
- ・秩父保健センターの施設の規模、必要設備等に関する協議

「子どもから高齢者まで、すべての人が笑顔にあふれ、
だれもがチャンスをつかめるまち」

2月20日に開会した市議会3月定例会において、北堀市長が発表した施政方針の概要「重点7項目」を抜粋してお知らせします。

詳細は



2 高齢者支援策の充実



高齢者が自立した生活を
送ることができる地域づくり

- ・高齢者の移動支援（バス回数券の購入補助、免許返納者への助成）
- ・地域社会の情報化（シニア世代対象のスマートフォン購入補助事業やスマホ教室等の開催）

3 行政改革による、 さらなる財政の健全化



無駄を排除し、
未来に責任の持てる財政運営

- ・財政の健全化、事業の取捨選択と見直し
- ・ふるさと納税寄附額の増加（財政課に「ふるさと納税担当」新設）
- ・秩父市DX推進計画に基づく、デジタル技術で市民の利便性向上につながる事業の実施
- ・マイナンバーカードの普及と利用促進
- ・関係人口・定住人口増加のための取り組み（「転職なき移住」を実現できる秩父市の優位性をより一層PR）
- ・婚活支援事業
- ・広域連携（ちちぶ定住自立圏）の推進（医療的ケア児者支援従業者養成事業の新規実施）
- ・二次救急輪番病院への補助制度の拡充

1 子育て支援策の充実 最優先施策



次世代を担う子どもを
産み育てやすい社会の構築

- ・出産祝金事業（第1子12万円、第2子30万円、第3子以降50万円）
- ・ネウボラの充実による子育て不安の軽減
- ・産後ケア事業による母親の心身の安定と育児不安の軽減
- ・出産から子育てまで一貫した支援（伴走型相談支援と出産・子育て応援給付金による経済支援を一体的に実施するなど）
- ・学校環境の整備（原谷小学校校舎・体育館等改修工事のための実施設計）
- ・ランドセルの購入補助（限度額5万円）
- ・熊よけ鈴・ホイッスルを新1年生へ配布
- ・学校給食費の補助拡大（補助率55%）
- ・地産オーガニック食材の給食への活用について調査研究
- ・ICT教育の推進（1人1台の学習用端末による「個別最適な学び」の実現）
- ・幼児英語教育の推進（小・中学校だけでなくALTを公立の幼稚園・こども園・保育所へ派遣）

令和6年度当初予算

一般会計予算額 299億5千万円

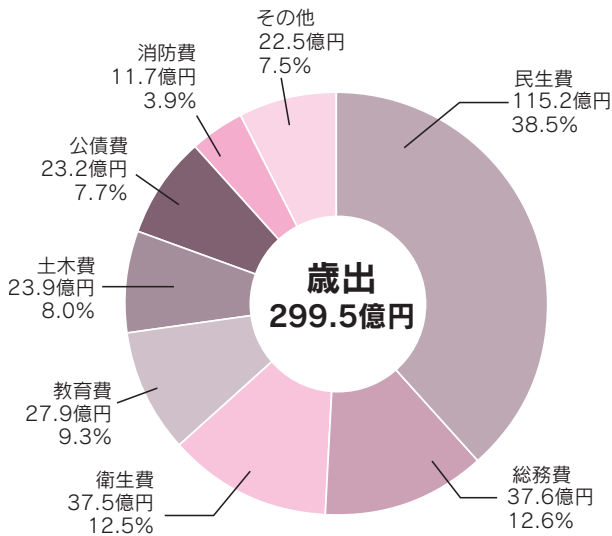
〔前年度比0.9%〕

令和6年度当初予算が、市議会3月定例会で可決されました。

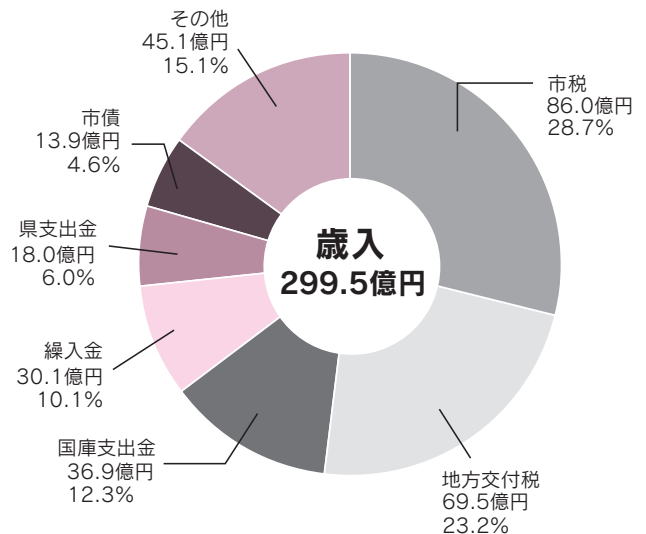
電気料や原材料費の高騰など、社会情勢の影響を見込んだほか、各種施設の改修を引き続き行うため、令和6年度当初予算は前年度と比べ増額しました。

令和6年度は、出産祝金をはじめとする子育て支援や、地域医療・福祉の充実に関する事業を引き続き実施します。また、令和7年に開催される全国植樹祭に向けての準備を行うほか、災害対応備品を整備するなど、安心・安全に暮らせる社会の実現に向けた事業を盛り込みました。今後も、満足度の高い市民サービスの提供を目指し、事業を進めていきます。

一般会計の歳出



一般会計の歳入



一般会計予算の概要

【歳入の概要】

市税は、固定資産税評価替えの影響により、市債は、財政健全化に向けた借入額抑制により、それぞれ減額を見込んでいます。一方、基金からの繰入金は、年度間の収支均衡を図るため、増額を見込みました。

なお、市にとって重要な収入である地方交付税は、国の地方財政計画などを参考に、増額を見込みました。

【歳出の概要】

民生費には、出産祝金、日野田保育所大規模改修工事費などを計上しました。また、総務費には、利用していない建物の解体費や、空き家等実態調査に関する経費などを計上しました。

このほか、農林水産費には、全国植樹祭にかかる経費などを、土木費には市道やミューズパーク内の施設・設備の改修費などを、

【用語解説】

市債：市の借入金

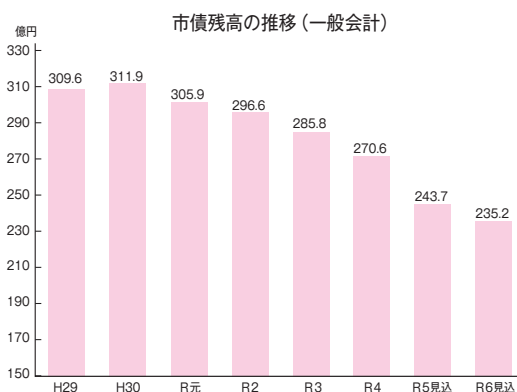
地方交付税：全国で同水準の行政を行うために交付される財源

民生費：児童、高齢者、障がい者福祉のための経費や生活保護の経費

総務費：市の計画の策定や推進、内部管理、選挙等にかかる経費

【市債残高の状況】

令和4年度末の市債残高は約270億円で、繰上償還を行ったことにより、令和5年度末も減少となる見込みです。令和6年度以降も基金の活用を図りながら市債の抑制を進めていきます。



農林水産業費：農業・林業・水産業の振興や管理に関する経費

土木費：道路、橋りょう、河川、公園、住宅などの整備や管理にかかる経費

消防費：災害への対応やその被害軽減のための活動にかかる経費





「子どもから高齢者まで、すべての人が笑顔にあふれ、

令和6年度 注目の事業

子育て支援の充実

●入学準備品購入補助金【継続】
〔1,860万円〕

令和7年度小学校入学児に対し、ランドセル購入費補助金（上限5万円）を支給します。

●出産祝金【継続】
〔5,730万円〕

出産費用及び紙おむつ・おしりふき等の消耗品購入支援として、第1子12万円、第2子30万円、第3子以降50万円（第2子以降は分割支給）を出産祝金として現金支給します。

●学校給食費支援【継続】
〔2億7,011万7千円〕

子育て世帯を支援するため、給食費の45%を保護者負担分として歳入計上します。

●子育て支援拠点の整備、相談機能の強化【継続】
〔1億1,359万5千円〕

子育て環境支援相談業務や母子支援事業、教育相談業務に関する環境整備と機能強化を図ります。

公共施設の有効活用

●市有物件解体事業【新規】
〔7,000万円〕

ファシリティマネジメントを推進するとともに、今後の市有土地の処分等整理を見据えた体制を整えるため、利用していない施設等

建物を計画的に解体します。

●日野田保育所大規模改修事業【新規】
〔1億3,200万円〕

公共施設等総合管理計画に基づき、日野田保育所大規模改修工事を行います。

●影森グラウンド照明施設新設・改修事業【継続】
〔2,000万円〕

影森グラウンド（多目的グラウンド）に夜間照明設備を設置し、利用者の利便性向上を図ります。

医療・福祉の充実

●市立病院建設準備事業【新規】
〔746万円〕

市立病院建設に向けた検討を行います。

●病院改修事業【継続】
〔4,253万1千円〕

市立病院の老朽設備（受変電設備等）を更新し、診療環境の維持を図ります。

●健康マイレージ事業【新規】
〔510万円〕

歩数管理アプリを導入し、健康活動の習慣化や、健康意識の維持向上を図ります。

企業誘致と経済活性化

●商店街施設整備事業【新規】
〔2,000万円〕

商店街の店舗等がテーマに沿った改装をする際に補助することに

より、街並みの統一を図りながら、商店街の活性化を図ります。

●Society5.0推進事業【新規】
〔6,275万円〕

地方創生推進交付金事業として採択されたSociety5.0推進事業について、大滝地域でのドローン配送・遠隔医療・物流MaaSの各種事業の社会実装に向けた体制を整備し、サービスを展開します。

●秩父理研バトンゾーン事業【新規】
〔296万5千円〕

理化学研究所と市内中小企業との関係性を深め、共同研究や研究開発成果の実装と実用化が図れる仕組みづくりを図ります。

安心・安全な社会の実現

●消防団員出動報酬【継続】
〔1,130万円〕

消防団員の火災などの災害出動実績や訓練等への参加実績に応じて出動報酬を支給します。

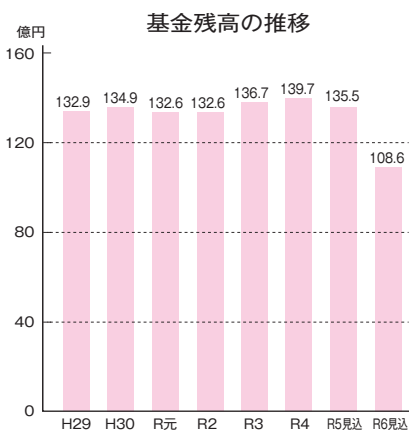
●消防団車両整備事業【新規】
〔17,930万円〕

可搬消防ポンプ付き普通積載車1台を更新します。

●災害対応備品整備事業【新規】
〔3,000万円〕

指定緊急避難場所の秩父市役所と、併設する指定一般避難所の秩父宮記念市民会館の共用駐車場内へマンホールトイレを設置し、災害発生時に備えます。

問 特別会計、企業会計の予算の概要は市HPでご覧いただけます。



【基金残高の状況】
一般家庭での貯金にあたるのが「基金」です。市では、計画的に基金への積立てを行い、財源を必要とするときに取り崩しを行っています。平成30年度末にはふるさと納税寄附金の基金への積立てなどにより増加しました。令和元年度以降は横ばい傾向にありましたが、令和3・4年度は普通交付税の追加交付分の一部を基金に積み立てたことなどにより増加しています。令和5年度は公共施設整備の財源として取り崩したため減少しています。市民1人当たりの基金残高は、県内の他市町村と比較して高いレベルにあります。今後市債と基金のバランスに配慮しながら、基金の使い道を決めていきます。



第75回 全国植樹祭 埼玉 2025

NEWS

今月号から、令和7年春に秩父ミューズパークを主会場として開催される「第75回全国植樹祭」に関する各種情報をお知らせします。

全国植樹祭とは

森林やみどりに対する国民の理解を深めるために、毎年、都道府県の持ち回りで開催される全国的な行事です。当日は、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、県内外から多くの招待者が出席し、式典行事や記念植樹を行います。

また、当日以外にもさまざまな関連事業や記念行事が行われます。

●主な行事内容

- ・天皇皇后両陛下による苗の「お手植え」、種の「お手播き」、参加者による記念植樹
- ・大会テーマを表現するさまざまなアトラクションの披露
- ・国土緑化活動に関する功労者表彰

●埼玉県での過去の大会

埼玉県では、昭和34年（1959年）に、寄居町の金尾山において第10回大会が開催されました。当日は、天皇皇后両陛下がヒノキの苗木をお手植えになり、県内外から7,000人の招待者が、約1万5千本のヒノキの苗木を植樹しました。

第75回全国植樹祭の概要

主催 公益社団法人国土緑化推進機構、埼玉県

開催時期

令和7年春季（詳細未定）

開催規模

特別招待者・一般招待者併せて3,500人、実施本部員・協力員1,500人の合計5,000人規模の大会となる予定です。

開催会場

式典会場は、秩父ミューズパークのテニスコートおよび周辺に特

天皇陛下お手植え



第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

第75回全国植樹祭応援事業



秩父グリーンフェスタ 開催！

第75回全国植樹祭の1年前を記念し、桜まつりの時期にあわせて市主催のイベントを開催します。ぜひご来場ください！

とき 5月4日（土・祝）

10時～16時

ところ 秩父公園・歴史文化伝承館

内容

- ・特設ステージでの記念植樹
- ・郷土芸能、ダンス吹奏楽公演
- ・木工品販売コーナー
- ・ワークショップ（体験教室）
- ・ポテくまくんぬりえコンクール作品展示 など
- ・特別ゲストアキラ100%登場
- ・地元グルメ・お酒大集合
- ・森林・林業PRコーナー
- ・ふわふわトランポリン

※ステージにはポテくまくんも登場！

特典 数量限定で苗木および秩父産木材製ポットカバーを進呈！

入場料 無料

☎全国植樹祭準備室 ☎22-2816

●イベント詳細は市☎またはSNSにて！



設されます。会場の中心には、天皇皇后両陛下がご着席される「お野立所」が設置されます。また、会場内には各種の展示PR等を行う「おもてなし広場」も設置され、招待者を歓迎します。さらに、招待者が記念植樹を行う植樹会場についてもミューズパーク内に設置されます。

☎全国植樹祭準備室
22-2816

お野立所イメージ



式典会場イメージ

第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会提供

ご寄付ありがとうございました

次の方から、社会福祉のために寄付をいただきました。温かな善意に感謝し、ご紹介します。(令和6年1月)
▶1月26日、秩父市第一地区民生委員児童委員協議会(濱中啓一会長)様から、秩父市福祉女性会館料理室へ調理器具

「企業版ふるさと納税」によるご寄付をいただきました

ご寄付をいただいた企業をご紹介します。誠にありがとうございました。
多様な企業支援により安定した雇用を創出する事業のために
▶1月26日、タレントスクエア株式会社から
問産業支援課☎25-5208

4月から市役所の組織が変わりました
・財政課に「ふるさと納税担当」を新設し、ふるさと納税の寄附額の拡大と返礼品の開拓・開発を担当します。
・福祉部に「子ども家庭センター」を新設し、児童福祉や母子保健に関する相談業務を担当します。
・都市計画課を「まちづくり公園課」に名称変更し、所有者不明土地対策など、新たな土地政策に関する事務を担当するとともに、都市公園等の担当課としてわかりやすい課名に変更しました。
問総合政策課☎22-2823

産業功労



一般社団法人
埼玉建築士会副会長
丸岡 庸一郎氏
(東町)

県知事表彰



前野 浩二氏
(中村町)

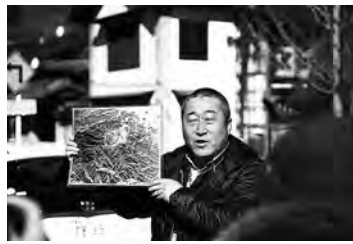
秩父市教育委員会 教育長の就任

前野氏は、市議会3月定例会において議会の同意を得て、4月1日付で北堀市長から秩父市教育委員会教育長に任命されました。

地域おこし協力隊

吉田地域探求ツアーでガイドをつとめました！

2024年1月26日に、秩父市移住相談センター主催の「地域と生産者を知る吉田探求ツアー」にガイドとして参加させていただきました。



本イベントは、「秩父が大好き」、「秩父に暮らしてみたい」という方が集まるコミュニティ【秩父ファンクラブ】のイベントで、秩父の酒蔵を巡りながら、秩父で起業した生産者の思いや、酒蔵で働く先輩移住者の体験談を聞くとともに、ジオパークの観点から吉田の町・秩父地域を理解するというもの。

私は車窓案内に加えて、下吉田の町なかガイドを担当し、かつて下吉田が秩父地域で最も栄えていた理由を、秩父盆地の地形図、明治、大正、昭和各時代の町の地図を見ながら紐解いていきました。

ちょうど1年前横浜に居住し、移住希望者の1人だ

った自分が、1年後には秩父市の地域おこし協力隊として新たな移住希望者の方に秩父の地形、歴史、文化をお伝えしていることに自分でも驚くとともに、まるで2周目の人生を生きているような不思議な感覚を覚えました。人生は本当に面白いです。

これからも秩父の魅力を発信していきます！

秩父は知れば知るほど面白い町です。秩父の自然、歴史、文化、お祭り、暮らし等どれも興味深く、秩父にはたくさんのワクワクドキドキが詰まっています。まるで秩父盆地が大きなおもちゃ箱や宝箱のように。

これからも、自分が移住して感じた秩父の魅力を、ジオパークの観点を交えながら、秩父地域内外の方たちに発信していきたいと思えます。

秩父まるごとジオパーク

推進協議会

☎26-5511

地域おこし協力隊

かみ いずみ つとむ
上 泉 努



Facebook



Instagram